

2024年12月期 第3四半期決算発表に関して、株主・投資家の皆様から頂戴した主なご質問内容をまとめました。決算短信及び決算補足資料と併せてご覧ください。

## 1. 業績見通し

**Q1：2024年12月期通期の当期利益見通しが8月発表予想の3,600億円から3,800億円(+200億円、5.6%増)へと上方修正された背景は？**

A1：イクシスにおける生産トラブルは8月発表予想比で約340億円の減益要因となった(トラブルの詳細については下記ご質問の「イクシスにおける生産トラブルの概要は？」参照のこと)。他方、主な増益要因として、イクシスにおけるPRRT(Petroleum Resources Rent Tax)の発生時期が来期以降にずれ込んだこと(180億円増)、当社グループ内でのストラクチャー最適化による税金・税効果影響(230億円)等があったため、業績予想を上方修正した。

## 2. 株主還元

**Q1：株主還元に変更はあるか？通期決算での追加還元の見込みは？**

A1：株主還元に関しては、第3四半期決算発表時点では8月発表予想から変更なく、1株当たり年間配当金86円、自己株式の取得1,300億円を維持。「安定的な配当を基本としつつ、業績の成長に応じて、株主還元を強化する」との還元の基本方針に基づき、業績の状況等に応じて判断する。

## 3. イクシス

**Q1：イクシスにおける生産トラブルの概要は？**

A1：補足説明資料 p.12 に以下の通り記載済みであり、ご覧いただきたい。

イクシス出荷カーゴ数		INPEX												
現在のプラント稼働状況と今後の見通しについては以下の通り。														
<ul style="list-style-type: none"> <li>LNG陸上施設トレイン2の熱交換器にトラブルが発生し、8/20にトレイン2を停止。検査・修理を行い、10/9に運転再開</li> <li>トレイン1は、安全性確保を目的として、生産量をやや落としたうえで現在熱交換器の検査実施中。12月初旬には100%操業に復帰する見込み</li> <li>11月及び12月のLNG出荷カーゴ数/月は平均で10カーゴ程度を見込む</li> </ul>														
		2018	2019	2020	2021	2022	2023							
	LNG	11	104	122	117	112	129							
	プラントコンデンセート(陸上)	1	19	22	21	21	23							
	フィールドコンデンセート(海上)	4	29	34	32	29	29							
	LPG	2	27	34	32	30	34							
2024年度 月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
LNG	10	12	12	10	11	11	10	9	5	6	-	-	96	
プラントコンデンセート(陸上)	2	2	2	2	2	2	2	1	0	1	-	-	16	
フィールドコンデンセート(海上)	3	2	3	3	2	3	2	2	1	2	-	-	23	
LPG	3	2	4	2	3	3	3	2	1	2	-	-	25	

**Q2：イクシスの第3四半期累計利益と通期の利益貢献額見込みは？**

A2：2024年12月期第3四半期累計でセグメント利益1,966億円、通期見通しは8月発表予想から変更無く、約2,350億円となる見込み。

## 4. アバディ

### Q1：プロジェクトの進捗状況と今後の見通しは？

A1：今後 FEED（Front End Engineering Design の略。基本設計を指す）を実施し、その結果十分な投資可能性ありと判断した場合は FID の上、EPC を実施する。一般的に FEED には 2 年、EPC には 5 年程度を要する。インドネシア政府から 2030 年インドネシア国家生産目標（原油 100 万バレル、天然ガス 12Bcf/d）への貢献を強く要請されていることもあり、当社としても 2030 年代初頭の生産開始を目指していく。

なお、今般 FEED 開始時期が従来申し上げていた「2024 年中」から「2025 年前半」へと後ろ倒しとなった。これは、入札作業において、入札者側でのプロポーザル準備作業に想定以上に時間を要しているため。

以上

### 注意事項：

本書に記載される情報は、当社の計画と見通しを反映した、将来予想に関する記述に該当する情報を含んでおります。かかる将来予想に関する情報は、現在入手可能な情報に鑑みてなされた当社の仮定および判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性およびその他の要因が内在しております。かかるリスク、不確実性およびその他の要因は、かかる将来予想に関する情報に明示的または黙示的に示される当社の将来における業績、経営結果、財務内容に関してこれらと大幅に異なる結果をもたらす可能性があります。かかるリスク、不確実性およびその他の要因には下記のものが含まれますが、これらに限られるものではありません。

- 原油および天然ガスの価格変動及び需要の変化
- 為替レートの変動
- 探鉱・開発・生産に関連するコストまたはその他の支出の変化

本書に掲載される情報（将来予想に関する情報を含む）を、その掲載日後において、更新または修正して公表する義務を負うものではありません。